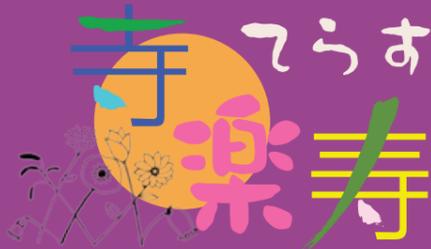


親しく正しく和かに

当山先々代三吉日照上人の提唱による
当山スローガンです
揮毫=大本山本興寺御開士大平日晋上人

季刊『寺楽寿』は東京都世田谷区北烏山の法華宗（本門流）
本覺山妙壽寺が発行する寺報です。
檀信徒の皆さまをはじめ、妙壽寺にご縁のある皆さまに
広くお読みいただければ幸いです。



No.36
平成31年3月1日発行



本覺山 妙壽寺 〈法華宗（本門流）〉
〒157-0061 東京都世田谷区北烏山 5-15-1
電話 03-3308-1251 FAX.03-3308-7427
ホームページ http://myojyuji.or.jp



無縁社会と寺縁 その32

平成の元号も余すところ2カ月余りとなりました。5月1日には新天皇即位、そして新元号が発令されることとなります。
新しい天皇陛下の2歳年長である自らの来し方を顧みると、昭和の半ばに生を受け、幼少期・青年期時代、そして新社会人に至った30代初めに平成元年を迎えました。平成の30年間はまさに駆け足で過ぎ、一昨年遷暦を迎えたように感じます。
十代後半から二十代、明治・大正生まれの方々が周りに多くご健在で、戦前・戦中・戦後という動乱と混乱の時代を生きた方々から、多くのお話を聞近でうかがったものでした。余りに多くを聞いたため、あたかもその時代に自分が居たような錯覚すら覚えたものです。
新元号となり、生を受ける子供たちが成長したとき、昭和生まれの私共は、自分たちが若いころに感じた明治や大正生まれの人々のように思われることになるのでしょうか。
そのことは、元号が始まってから、即ち、最初に「大化」の元号（645年）が定められてから1350年余り継続する元号の中に、その時代その時代の人々のさまざまな思いがあったといえるのではないのでしょうか。
更には、その「大化」の元号が定められた100年ほど前（538年）に仏教が伝来し、日本の人々の従来の宗教と融合しつつ、今日まで我々の心の支えとなつていくことも忘れてはならないと思います。
新しい元号を迎えるにあたり、日本がこれを持ち続け、そのことよって国の象徴として永続しているのかとも思われます。
「平成」の次の新たな時代が、同時代を生きる私共が世代を超えて共に心が一つとなれるような、そのような時代になることを祈念してやまないものであります。

鴉 鶴



当山世話人・竹崎清彦氏の葡萄畑（山梨県甲州市勝沼町）。
<写真上>白ワイン用の品種シャルドネ、<同下>赤ワイン用の品種カベルネ・ソーヴィニヨン。
(裏面インタビュー参照)

平成31年新年会



鍋島客殿における総会にて出席者に説明する当山上人

EVENT 行事催事のご案内

- 東京大空襲犠牲者祥月忌 参加者募集
3月10日(日) 15:00
集合場所: 東京都慰霊堂 (墨田区横網 2-3-25 都立横網町公園内)
- 春の彼岸法要
3月21日(木・祝) 11:00より
11:00 中日合同法要 初座
12:00 歴代墓所並びに正隆廟法要・動物廟法要 (2階動物廟、室外合同墓地)
14:00 中日合同法要 第二座
- 躑躅(つつじ) 観賞会
期日: 4月20日(土)・21日(日)
両日とも 10:00 ~ 16:00
鍋島客殿と東祥苑前の躑躅の庭を作庭いただいた当山世話人・故西澤義光氏の善行を記念して、平成26年より毎年開催しております。当日は、鍋島客殿の二階を開放いたします。また、世田谷百景に選定されている「西澤つつじ園」は、当山より徒歩10分程にあり、当日は躑躅の苗木即売会が開催される予定です。
- 猿江稲荷社例大祭
5月7日(火) 11:00 例大祭法要(約30分)
集合場所: 当山猿江別院 (江東区猿江 2-5-14)
参加費: 3,000円(猿江稲荷崇敬会費及びお土産)
昼食費は別途で実費3,500円程度
お申込: 4月15日までに当山へFAX
お問合せは、事務局・中島まで
携帯電話 090-1508-1188
*法要後、スカイツリーの眺望が良い錦糸町東武ホテルにて昼食懇親会

- 予告 今後の予定
- 7月16日(火) 孟蘭盆会法要
 - 9月23日(月・祝) 秋季彼岸会・中日法要
 - 11月3日(日・祝) 宗祖第七三八遠御忌御会式
 - 11月9日(土) 竹灯籠能「羽衣」&落語会

「妙壽寺客殿保存会」基金への寄付について

かつて麻布区飯倉狸穴町(現 港区麻布台2丁目)に蓮池藩鍋島家の住宅として建てられ、昭和2年に北烏山の境内に移築された妙壽寺客殿は、平成20年、世田谷区指定有形文化財になりました。都内では少なくなった明治中期以降の華族や上流階級の生活様式が窺える貴重な近代和風住宅の典型として評価された結果ですが、文化財の栄誉が与えられると同時に、区と共に時代を継承していく義務を負うことになったわけです。それには、この客殿を使い続け、機に応じたメンテナンスが必要です。新年会に先立つ総会で、そのための寄付を積み立てることが了承されました。一口10,000円。ご寄付は何口でも受け付けられます。檀信徒の皆様方のご協力を期待します。

猿江別院御写経会のご案内

下記の日程で、各回13:00~19:00に開催いたします。(開催時間内にお越しただいて、それぞれのご都合に合わせてお帰りいただけます)
第8回 4月5日(金) 第9回 6月21日(金)
第10回 8月9日(金) 第11回 10月4日(金)
第13回 12月6日(金)
参加費▶500円(御写経御手本・半紙・美味しいもの)
*書道具(筆ペン)はご用意しております。

正隆会 春のウォーク

音羽護国寺と六義園を巡る 開催日: 3月16日(土)

護国寺の月光殿に付設の建物は、当山鍋島客殿と関係が深い建造物です。当山の東祥苑をはじめ猿江別院建立にご尽力いただいた三浦清史先生(ごう建築設計事務所)の解説を聞きながら、鍋島客殿の歴史を感じていただけます。また、日本庭園「六義園(りくぎえん)」は、江戸時代に5代将軍・徳川綱吉の信頼の厚かった柳沢吉保が造営した庭園です。都内随一の人気を誇る花見の名所で、特に枝垂れ桜は見頃を迎え、圧巻です。

行程(予定)▶東京メトロ有楽町線護国寺駅(4)地上出口集合(10:00)→護国寺(散策)→昼食処→六義園(散策)→JR山手線駒込駅解散(15:00頃)の予定

参加費(予定)▶4,000円(昼食代・保険料等)

お申込み・お問合せ: 妙壽寺 電話 03-3308-1251 FAX 03-3308-7427

- ### 寺日記
- 1月1日 元旦国袴会
 - 1月12日 正隆会初題目
 - 1月12日 植田新太郎総代を偲ぶ会
 - 1月14日 江戸千家宗家初釜式
 - 1月15日 烏山仏教会先師追悼会
 - 1月19日 総代会・年頭会法要・役員婦人会総会・新年懇親会
- 午後1時より総代会、同2時より45名が出席のもと、本堂において年頭法要が奉修され、その後、鍋島客殿2階に場を移して役員会・婦人会が開催されました。閉会后、新年懇親会が行われ、恒例の福引など和やかに行われました。(写真上記参照)
- 1月24日 東京教区新年会
 - 1月26日 東京ブディストクラブ新年会
 - 1月28日 先代日淳上人祥月忌

節分会

2月3日 節分会(正隆会・写真左参照)
2月4日 浅見真高師(能楽師・観世会理事・重要無形文化財総合認定、当住久美夫人父、行年93歳)逝去
16日・17日代々木能舞台にて通夜・葬儀
2月6日 東久留米多聞寺通夜 東京ブディストクラブ会員番場雅文師御尊父
2月7日 幸龍寺(烏山) 御先代七回忌並びに本山本遠寺晋山祝賀会(ホテルニューオーキック)

宗務院 DIARY

当住上人の

- 12月7日 御用納め
- 1月8日 御用始め
- 1月30・31日 僧階詮衡会
- 2月8日 内局会議
- 2月1日 不活動法人対策会議 於 虎ノ門酒造会館

当山愛犬ジーン(仁吉)

2月4日に死去

- ### 正隆会 月例講 ご案内
- [SHORYU-kai] 午後2時開催
- 3月16日(土) 正隆会「春のウォーク」別紙参照
 - 4月13日(土) 勉強会「日蓮紀行」拝読5
 - 5月7日(火) 猿江稲荷大祭
 - 6月8日(土) 写経会・勉強会「日蓮紀行」拝読6
 - 7月13日(土) 興隆学林平島盛龍教授特別講義
 - 8月 休講
 - 9月14日(土) 勉強会「日蓮紀行」拝読7
 - 10月12日(土) 課外活動「秋のウォーク」
 - 11月16日(土) 写経会
 - 12月14日(土) 三千遍唱題会・勉強会「日蓮紀行」拝読8

竹崎清彦氏（当山世話人・ぶどう栽培家）

平成31年1月28日 於・小笠原伯爵邸テイルーム（新宿区河田町）

竹崎家と妙壽寺との縁

住職 竹崎さん、こんにちは。私の友人が総支配人をされている若松河田の小笠原伯爵邸でのインタビューです。ここはかつて、妙壽寺で見学会が行われたところです。

竹崎さんには、以前からいろいろなお話を伺いたいと思っていました。まず1つは、竹崎家と妙壽寺の関係です。私が一番印象深いのは、お母様が茶道をされておられて、そのお母様が本宮にお参りをお願いされていたおられますが、もともと竹崎家の先祖は本所深川ですか。

竹崎 住まいはともかく、先祖は、祖父寅八から始まっています。墓誌に刻まれています。住職 その寅八お祖父様はどなたからのご紹介ですか。

竹崎 その辺が全然わからないですね。正直言って私も寅八に会ったことがないので。住職 ただ、その寅八さんのお生まれ、お住まい、お仕事関係というのは……。

竹崎 その辺も、私も過去のことにはあまり興味を持っていないので、詳しくはないのですが、四国の人と聞いています。関係あるかわかりませんが、竹崎五郎衛門季長という（鎌倉時代の）元寇（げんこう）の乱のときに戦った人がいます、竹崎家では、唯一歴史に出てくる人物です。

住職 日蓮聖人の時代ですね。そうすると、おじいさまぐらいの代に深川か鳥山でござ縁があって、こちら墓地があるということですね。

竹崎 先々代のご住職と親しくなったというように聞こえますね。住職 日照上人ですね。竹崎 何かで成功して財を成したと言われていて、茨城の方に屋敷があった、そこに



竹崎氏(左)と三吉上人。小笠原伯爵邸のイスラム調でデザインされたシガールームで。

聞き手 三吉廣明上人

は庭に川が流れていて、船で渡ったり、そこで鯉の養殖をしていたようです。いろいろな先見の明はあったようですが、祖父の職業は何だかわかりません。青山にも屋敷があり、そこから梨本宮家に入りにして聞いたと聞きました。

住職 当山客殿の鍋島家と宮家が婚姻関係があつておかしくないですか。竹崎 はい。それで、李方子（梨本宮守正王第一王女で、旧大韓帝国、高宗第七皇子に嫁ぐ）が日本に帰ってきたときに、「竹崎さんがまだご健在だったら良かったのに」と言われたそうで、父母が面会に行きました。会つてくれたのですが、特別なことはなかったように私は記憶しています。少なくとも寅八は好意的な人物であつたのだと思つています。

住職 朝鮮王朝の李家と梨本宮家との結婚は特別のことのようでした。竹崎 そのようですね。あと、父の姉から言われているのは、竹崎家は末代まで見てもらえることはしているからみたいなきことは言われているんです。住職 それは梨本宮にですか。竹崎 いやいや、妙壽寺にです。（笑）

住職 そうなんですか、知らなかった。（笑）竹崎 というようなことですが、もうそれは過去のことから。住職 もしかしら、それは鍋島家の屋敷を移築したときのことでしょうか。竹崎 そうかも知れませんが、梨本宮にもいろいろのものを買つて援助をしていたということ。だから方子さんも「竹崎さん」と名を挙げるくらいだったのだな。想像でしかないです。

寅八という人のおもしろい人だねという話で、ただ、私は全くそういうのは興味を持っていないので、探ろうともしなかった。親戚に毛利さんという人がいて、伯爵だったという話がありました。それも……。

住職 竹崎さんは昭和27年生まれと伺いますが、これまでのお仕事は主に何をされてきたんですか。竹崎 映画好きだったので、「円谷プロ」でTV映画番組の光学撮影部へ配属され、ウルトラマンの光線などを作っていました。特撮不況で2年で解雇された。その後、印刷の製版会社に入り、モジラのようなレタッチャを生を送りました。デジタル製版を夢見て転職しましたが、現実はアナログ継続でした。そんな中、縁あって科学雑誌「Newton」の製版下請会社へ、その上のグループ子会社に入社。その後、紆余曲折があり、会社の倒産前のニュートンプレスに派遣、社員となって、夢見たデジタル製版にも関与しました。画像

ワインとの出会いから、ぶどう栽培家へ

住職 竹崎さんは昭和27年生まれと伺いますが、これまでのお仕事は主に何をされてきたんですか。竹崎 映画好きだったので、「円谷プロ」でTV映画番組の光学撮影部へ配属され、ウルトラマンの光線などを作っていました。特撮不況で2年で解雇された。その後、印刷の製版会社に入り、モジラのようなレタッチャを生を送りました。デジタル製版を夢見て転職しましたが、現実はアナログ継続でした。そんな中、縁あって科学雑誌「Newton」の製版下請会社へ、その上のグループ子会社に入社。その後、紆余曲折があり、会社の倒産前のニュートンプレスに派遣、社員となって、夢見たデジタル製版にも関与しました。画像

処理をしていたので、密かにデジタル化をして雑誌の完全デジタル製版の現実を形にしたと内心で思っています。住職 ワインに出会われたのは、いつ頃からですか。竹崎 80年代半ばです。ワインとの出会いは、母と一緒に国立の紀ノ国屋に抹茶を買いに行った時、出口にワイン売場があり、試飲により導かれるようにワインの世界に入りました。毎週のように店頭で勉強会です。そのうち販売の女性店員から、日報に書くからコメントくださいって言われるようになりました。住職 それで、自分でワイン造りをやってみたいと思つたのです。竹崎 いつ頃だったか忘れましたが、自然派ワインの先駆け時代に最先端を行く立川の酒屋さんに出会い、ワインは農作物、ぶどう栽培から始まることと洗脳された、というか体に染み付いたんです。いつしか「ぶどう栽培」をやりたいと思ひ始めました。2007年からグレイス鳥居平栽培クラブ（勝沼でぶどう栽培の全行程の作業を従事している独立したボランティアの集団）の時代を経て、定年後、ぶどう栽培はやりたいが、どこで何をやるかは全く見えず、定年後の採用なんてありえませんでした。

60歳で定年する年の春、面識のない同じ勝沼町の万福寺のお上人さんから「栽培クラブ」の呼びかけがフェイスブックにあり、参加しました。集まった人はみんな仕事と掛け持ちで、時間が作れず作業者は少なかった。それで立川・勝沼間の定期を買って、万福寺でぶどう栽培を続けました。そして翌年にはその圃場（ほじょう）を貸してもらえらるようになりました。

開始しました。過疎化しつつある村でもあり、勝沼深沢の活性化も先の目標になっています。勝沼盆地のこの地区の冷涼な気候は楽しみです。

ワインが好き、ぶどう栽培がしたいから私は老後に自然の中で暮らさせて、戦える切符を手に入れることが出来ました。住職 最盛期にはほとんど勝沼に暮らしておられるのですか。竹崎 いや、それでも母が施設へ入っていますから、1週間に一度は面会に帰るようになっています。住職 いろいろな苦労が何かとありますが、でもすばらしいですね。勝沼に10年程かかわつておられますが、勝沼での生活はいかがですか。竹崎 そうですね。私が接する人っていい人ばかりで。だから、これってめぐり合わせ導かれているのかなという感じがします。だから、だから、自分が意識して動くよりも、もつとすてきな出会いがあったりします。

映画ポスターの収集
住職 竹崎さんは、長年、収集した映画ポスターを京橋フィルムセンターに寄付されたことと同じです。竹崎 東京国立近代美術館フィルムセンター（現在は国立映画アーカイブ）の常設展示室の最後の部屋に、私の名前のプレートのポスターが展示されています。同図書館に、私のポスター収集末期だった30歳前に、日本映画ポスター集を自費出版した「PO☆STAR99」[PO☆STAR80]を寄贈したことで保管されているはずですが。住職 ポスターの寄贈は、これが布石になっておりまして、たまたま新聞で偉大な「みそのコレクション」寄贈の小さなコラムを目にして、自分も寄贈することにしました。住職 その「みそのコレクション」とは……。竹崎 映画史家で日本映画のコレクターの御園京平（みそのきょうへい）氏のコレクションです。その中からフィルムセンターに、貴重な無声映画時代のポスター多数を含む映画ポスター3、182点の寄贈をしているのです。

私が寄贈したということは、映画のポスターコレクションはもうやらないう。もうそこで完全に自分は手を離れました。最初は全部集めようという気持ちだったのですが……。住職 それは収集家の宿命だと私は思うんです。そういうものって足りないかと満足できないんです。その足りない残りの10%を必死で集めようとする、お茶道具なんかも、も一つ上を欲しいとなるんですね。そうすると、どんどん上に行くというジレンマがどうして出てきてしまう、収集というのは……。竹崎 自分では出来なかつたポスター展をフィルムセンターが企画実現させてくれるので、楽しみでもあり、良かったと思つています。

シャンソンに魅せられて
住職 それでは、シャンソンはどのようなきっかけで歌われたのですか。竹崎 ニュートンプレスに勤務しているときに、有休を消化してくださと言われて、八

王子のNHK学園でスプリングのシャンソン教室というのがあるので、行ってみました。行った途端に目からウロコで、「e」の発音です。ウという発音がありますが、それまでは中途半端な「ウー」だったんです。その「ウ」という音を出すことでシャンソンが歌えると思つた先生でした。通つて、一生懸命言われるがままに、月1回のレッスン。1曲1時間半ですが、細かい口の動かし方とかがわかってきて……。住職 竹崎さんの場合は本当にフランス語原語で歌うシャンソンということですね。竹崎 そうです。平成26年末ごろから大久保の「アミカル・ド・シャンソン」に参加して、人前で歌い始めました。2年後初めてのコンサート「第16回「ame chantier」(ジイムシャント) フランス語で歌うのが好き」に出場して、ジャック・ブル「アムステルダム」を歌い、自分でもビックリのグランプリを受賞しました。それでベルギーとフランス・ブルゴニーに行くことができました。まあ、まぐれと思つていたのですが、去年「第5回東京シャンソンコンクール」でジャック・ブル「瀕死の人」を歌い準グランプリを受賞しました。まぐれではないかも、と思つています。

今年から友人と神楽坂（カフェ「The 神楽坂」）でシャンソンライブを始めることにしました。何卒まで歌えるか、何曲覚えられるか、新たな挑戦です。

第2の人生の楽しみと信仰について
住職 さて、いろいろお話を伺っていたのですが、竹崎さんとお会いして一番思ったのは、人との出会いとか、何かに興味を持ったこと、すーっと入つてお行きになる。それを「ご自身で楽しんでおられる」というイメージを持ちました。私なんかはそういう意味では、かわりは持っているけれども、まだ本当に自分の趣味を自分で楽しみ切れないなど。今日のお話で、それは自分の反省点でもあります。私の場合は邦楽であつたり、最近お茶を習い始めましたが、まだまだだなどという思いを強くしました。竹崎さんは、今、お勤め人としての仕事はさされてないわけですね。竹崎 そうです。もう完全に第2の人生を

迎えています。住職 そういう中で、本當の意味での楽しみ、豊かさというのは漠然とした聞き方ですが、その辺はどのようにお考えですか。竹崎 そうですね、まず私つて結局、落ちこぼれじゃないですか。住職 そんなことはないです。竹崎 だから、社会の中で結構劣等感がありました。私、文章が書けないんです。要するにパソコンでは、文章は書けるんですけど、筆記で書くというのができない。こういう障害もあると聞いていますが、どうなんですか。勉強しなかつたからだと思つています。例えばアンケートがあつて、書いてくださいと言われている、その時点から文字が出てこないんです。家へ帰つて、それを見ながらパソコンで毎日日記を上げています。フェイスブックも毎日日記を上げていますから、ほかではないんでしょうか……。住職 すごくですよ、私から言わせたら。今の竹崎さんのお話を聞くと、逆にすごく勇気づけられます。竹崎さんの定年後の豊かな趣味の世界を送られておられる充実した生活は、大変参考になりました。竹崎さんには一昨年、当山の世話人をお願いしました。先ほどのお祖父様とのご縁があつて妙壽寺のお檀家さんになつていただいたことではないですが、ご信仰ということで大げさなお寺はこうあつてほしい、あるいはご自身が日ごろ神仏について思つていることはおありになりますか。竹崎 檀家として菩提寺の宗教であり、特別な信仰は持っていません。お経を聞くのは長く嫌だつたんですが、不謹慎ですが、古典芸能を鑑賞すると気持ち切り替へたら意外と入つて行きました。シャンソンを始め、本堂にお参りして、鍋島客殿でお茶するときの板ガラスから見えるゆがんだ風景、贅沢なお墓参りです。住職 それだけアクティブな竹崎さんだから、私も何かと頼りにさせていたと思います。これからもいろいろな企画の段階からのご相談にもあずかせていただきたいと思います。今日は長時間ありがとうございました。（一）



昨年の「第5回東京シャンソンコンクール」で準優勝



▲国立映画アーカイブの展覧会「ポスターでみる映画史Part3 SF・怪獣映画の世界」の掲示。竹崎氏寄贈のポスターが含まれている。

◀「都市市民と農村のコラボレーション」といえるユニークな組織「グレイス栽培クラブ」について紹介し、竹崎氏を含め、会員たちの手記をまとめた1冊。（人間と歴史社刊）